

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社こうりょう)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合は理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1 SDGs 実現	2 持続可能な 開発目標	3 気候変動 対応	4 エネルギー 政策	5 資源循環 システム	6 農業・食料 安全	7 工業生産 革新	8 都市化 政策	9 健康・福祉 政策	10 教育・学習 政策	11 就労・経済 政策	12 平和・不平等 削減	13 多文化社会 構築	14 生物多様性 保全	15 水資源 管理	16 陸域環境 保全	17 森林資源 保全		
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別ない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・ハラスメントの禁止を就業規則に明記している ・研修の実施、相談窓口の設置 ・職場いきいきアドバンスカンパニーの認証取得				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8										16.1			
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働は正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている							8.5 8.8												
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている			4.4				8.7 8.8		10.2 10.3										
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内ホームページ等を活用して周知徹底している ・安全衛生優良企業公表制度認定(厚生労働省)を取得している		3					8												
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している ・【予定】メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する		3																	
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・多様な人材が活躍できる社内チャレンジ制度を設けている ・【予定】多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信する			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3											
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している(国家資格研修、主任研修、管理監督者研修他)			4	5.5		8	9												
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備、対応を行う ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得				5.5		8.5		10.2 10.3											
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)						3				8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している ・削減のための計画を策定している(2020/8~2026/7)											11.6	12		14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している(2019年策定)						7.3						13							
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している(2020/8~2026/7)				7.2 7.3						12.4	13.3								
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している(2020/8~2026/7)		3.9		6.3						11.6	12.4								

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 1. 持続可能な開発目標	2 2. 経済成長	3 3. 社会的不平等の削減	4 4. 就業機会と労働権利の実現	5 5. 清潔で安価なエネルギーの供給	6 6. 水資源の持続可能な利用	7 7. 持続可能な農業	8 8. 環境への対応	9 9. 市場経済の活性化	10 10. 地域社会の開発	11 11. 国際協力	12 12. 人間の健康と福祉	13 13. 男女平等	14 14. 公正な社会の実現	15 15. 経済成長と社会開発の統合	16 16. 経済成長と社会開発の統合	17 17. 経済成長と社会開発の統合
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)		・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している		3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)		・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定、役職員向け研修の実施をしている ・ISO9001を取得し、継続している								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		・製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握を行っている					6					12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)		・建物の解体や公共工事の際の粉じん騒音の影響を考慮し工法の工夫を行ったり、近隣の方々にご挨拶を行うよう徹底している。				4					9	11	12	14	15	17			
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)						4						11		14	15	17			
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ(任意)										8	9	11	12	13					
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)		・年3回の全体会議にて理念・目標の共有を行っている。								8	9					17			
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)		・法令順守のマニュアル・フローチャートを作成し、更新があれば随時共有している。													16				
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)		・エコアクション21やISO認証を担当する事務局を設立している														16			
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本(必須)		・ステークホルダーへの対応方法を社内教育や全体会議の際に共有し、経営理念にも反映している。													16	17			
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)																16			
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ(任意)																16			
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)										9	11	13	13.1			16			
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)										8	9					17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・社員資格支援制度を設けている		・全ての社員に資格取得費用を会社負担で行っている			7	3 4 5	1 5.C			5							b	14 17	
・地域の子供たちに向けて青少年育成事業を取り組んでいる		・小諸市、小諸青年会議所と誰もが住みやすい街づくりを行っている (こもろふれ愛フェスティバル開催や子供向けの仕事紹介など)			7	1 2 3	1 5.C			6			3					17	
・再生資源増加の検討を行っている		・中間処分業者と現場ごとにより多くの再資源を生産する協議検討を行っている							2 3			6	4 5					17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定